

中秋（ちゅうしゅう）というのは、もともと「旧暦の8月」のことです。旧暦の7月を「初秋」、8月を「中秋」、9月を「晩秋」と呼んでいたのです。旧暦の8月は、およそ現在の9月頃に相当します。旧暦は「朔望（月の満ち欠け）」を基準にした暦で、新月（月齢0）を「月立ち（ついたち）」としていました。新月の日を入れて15日目（旧暦15日）の「旧暦8月15日の月」が「中秋の名月」と呼ばれています。

厄介なことに、中秋の名月は必ずしも満月になるとは限りません。月齢（新月の瞬間からの実日数）と月相（実際の月の形状）は一致しないのが普通だからです。これは月の公転角速度が一定ではないことが主な原因です。「あれ？中秋の名月なのに欠けている・・・」ということになるわけです。

しかし、今年（2023年）の中秋の名月は、正真正銘の満月です。計算では完全に満月（月齢約14.3／月相14.00／輝面比100）になるのは18:57なので、東の空から昇り始めた頃、観望には最適の位置でしょう。月の右上の少し離れたところには「土星」、月の左下には「木星」も見えます。満月は明るいので、雲のすき間からでも見えますので、是非観望してみてください！

